

CSR活動の目標・実績一覧

2016年度の活動結果と2017年度の実践項目

当社グループは、企業理念の実現に向けて、グループ行動憲章に基づくCSR活動を展開しています。イビデンマネジメントシステムならびに各グループ会社のマネジメントシステムのもと、活動のマネジメントに取り組んでいます。取り組むべき課題に対する実践状況は以下のとおりです。

第一条 法令および倫理の遵守	
各国、各地域の法令および倫理を遵守し、あらゆる形態の腐敗防止に取り組み、オープンで公正な企業活動を通じて国際社会から信頼される会社をめざします。また、個人情報・顧客情報ははじめとする各種情報の保護・管理を徹底します。	
2016年度の実践項目と結果	2017年度の実践項目
<ul style="list-style-type: none"> イビデンマネジメントシステム（IMS）のもと、継続的に法令および企業倫理遵守に関する内部監査の実施と課題への対応を実施 イビデン管理者によるイビデン社会的責任管理基準の理解向上と、基準に基づく職場巡視の実施（イビデン管理者95.5%が実施完了） 構内で働く従業員を対象にした、社員行動基準の教育と遵守状況モニタリング-約6,000名参加（イビデンおよび国内関連会社社員、構内請負事業者） 遵守状況モニタリングから抽出した課題を、各事業場、グループ会社の個別テーマ・共通テーマ活動として展開（イビデンおよび国内関連会社） 	<ul style="list-style-type: none"> IMSで法令および企業倫理遵守体制の継続運用 管理者によるイビデン社会的責任管理基準の理解向上と、基準に基づく職場巡視の実施 社員行動基準の教育と遵守状況モニタリングの継続実施
<ul style="list-style-type: none"> イビデン管理者に対する不正に関する管理基準の教育実施 監査グループによる不正行為防止にフォーカスした、内部監査の実施 事業に重大な影響を与える法令違反実績なし 	<ul style="list-style-type: none"> 管理者に向けた不正防止の教育と自職場のチェックを継続実施 監査グループによる不正行為防止の監査の継続 贈り物・接遇に関する社内ルールの再徹底
<ul style="list-style-type: none"> ITセキュリティ活動として、パソコンの操作ログ管理による不正利用対策、アクセス権・PCたな卸しによる情報漏えいリスクの低減 情報漏えい防止のためのパソコン利用のルール徹底とモニタリング継続実施 事業場内の物理的セキュリティを強化したセキュリティゾーン運用の開始（イビデン） 重大な情報漏えいの実績なし 	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティゾーンの継続運用による物理セキュリティの維持 情報漏えいリスクに対する教育・周知の強化

第二条 ステークホルダーとともに発展する会社	
ステークホルダーとともに発展していく会社として、経営の透明性を高め、コミュニケーションを通じた信頼関係を構築します。また、良き企業市民として、地域に根ざした社会貢献活動に積極的に取り組みます。	
2016年度の実践項目と結果	2017年度の実践項目
<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害時の初動対応に関する防災管理の標準化と対応訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害時の初動対応に関する訓練の計画的実施
<ul style="list-style-type: none"> 労使間コミュニケーションによる協業テーマと改善課題の抽出、及び課題への対応実施（イビデン） 地域の自治会などとの情報交換の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な労使間コミュニケーションの実施 地域との情報交換の継続実施
<ul style="list-style-type: none"> イビデン取引先向けCSR説明会の実施（2016年11月開催） お取引先さま向けのCSR調査、監査の継続実施 CSR調査での遵守率 87.3%*重大違反事項なし（イビデン） *調査項目全体での遵守率の平均 	<ul style="list-style-type: none"> お取引先さまCSRガイドラインの改訂と周知 CSR調査、監査の継続実施と改善活動フォローアップによるサプライチェーンのレベル向上の継続
<ul style="list-style-type: none"> イビデンツアー継続開催、家族・地域の学生向け工場見学会の開催 スポーツや文化イベントでの交流や、植樹活動など、地域に合わせた社会貢献プログラムの展開 	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境保護活動、青少年育成活動、社会福祉・地域貢献活動、災害支援活動、各プログラムの継続的な展開 地域に合わせた社会貢献プログラムの継続的な展開

第三条 お客さまへの感動の提供	
お客さまに感動を提供するために、社会の将来にわたる要求・動向を正しく理解し、イビデクノを進化させることで、お客さまの満足が最大になる安心・安全な商品の創造やサービスを行います。 ※感動とは、お客さまの潜在的ニーズを把握して、期待以上の応えを与えること。	
2016年度の実践項目と結果	2017年度の実践項目
<ul style="list-style-type: none"> お客さま満足度モニター・課題抽出 主要顧客から継続的な品質や持続性など側面に対する高評価の獲得 	<ul style="list-style-type: none"> お客さま満足度モニター・課題抽出
※その他に、市場要求のモニター、新分野への挑戦、既存分野の改革・改善などについて内部目標を設定して取り組んでいます。	

第四条 グローバル化に対応した経営

グローバル化に対応した連結経営を推進するとともに、企業活動を行ううえで人権を含む各種の国際規範はもとより、各国、各地域の文化・慣習を尊重します。

2016年度の実践項目と結果	2017年度の実践項目
<ul style="list-style-type: none"> ・イビデン社会的責任管理基準のイビデン社内管理者全員への周知（イビデン管理者100%がe-Learningによる教育修了） ・社内ポータルサイトを利用した啓発活動の継続的実施（イビデン） ・CSR調査票に基づく事業場の活動レベル把握と、グループ会社間の活動課題の共有化によるグループ全体のレベル向上 ・CSR推進責任者会議での継続的な事例共有（イビデンおよび国内関連会社） 	<ul style="list-style-type: none"> ・社員行動基準、社会的責任管理基準の改訂と周知 ・国内関連会社の管理者に対する社会的責任管理基準の周知 ・事業場、グループ会社の活動レベル把握と向上 ・CSR推進責任者会議での継続的な事例共有
<ul style="list-style-type: none"> ・イビデンウェイ浸透活動を継続的に展開 ・e-Learningシステムを活用した、社員行動基準に関する階層別教育の実施 <ul style="list-style-type: none"> - e-Learning受講率92%（イビデンおよび国内関連会社） 	<ul style="list-style-type: none"> ・イビデンウェイ浸透活動の展開 ・定期的な社員行動基準に関する階層別教育の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス相談窓口の継続的な啓発活動と、啓発事例を活用した違反発生、再発の予防 <ul style="list-style-type: none"> -コンプライアンス相談窓口相談件数 39件（イビデンおよび国内関連会社） ・ハラスメントをはじめとした労務課題を早期に把握、対応するための人事ホットラインの運用 ・主任・班長等現場管理者向けの職場コミュニケーション能力の向上研修実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス相談窓口、人事ホットラインの継続的な啓発活動 ・ハラスメント委員会による啓発、教育と指導、再発防止の取り組みを継続的に実施 ・ハラスメントに関する継続的な教育の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・既存マネジメントシステムを統合した認証の取得（イビデン） ・IMSの運用による既存マネジメントシステムを統合した内部監査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・IMSのグループ会社への展開により、全社方針の徹底と内部統制の強化を同時並行で推進 ・既存マネジメントシステムを統合した認証の取得（イビデン）

第五条 地球環境との共存

全ての事業活動で地球環境との共存をめざし、環境と経営を両立する技術の開発と普及に努めるとともに、省エネ・省資源活動を積極的に進め、環境に優しい商品・サービスを提供します。

2016年度の実践項目と結果	2017年度の実践項目
<p><省エネ活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機設備など生産設備のエネルギー削減 ・省エネ診断・省エネチェックによる省エネ管理の徹底 <ul style="list-style-type: none"> - エネルギー使用量原単位前年比 1%削減（イビデン国内事業場） - CO₂排出量原単位 2012年度比 6%増加（目標未達） 	<p><省エネ活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産時のエネルギーロスの最小化 ・生産休止時のエネルギー使用量の最小化 <ul style="list-style-type: none"> - CO₂排出量原単位 2012年度比 3%削減（2017年度）
<p><資源循環></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産量変動に追従した資源の適正利用によるムダ削減 ・製品/製造条件の明確化・適正化による資源の適切化 ・固形廃棄物発生原単位 2012年度比 14%削減（目標達成） <ul style="list-style-type: none"> - 取水量原単位 2012年度比 26%削減（目標達成） 	<p><資源循環></p> <p>生産変動に追従した資源の適正使用・廃棄物の削減</p> <p>廃棄物の順法管理</p> <ul style="list-style-type: none"> - 固形廃棄物原単位 2012年度比10%以上削減（毎年2%削減） - 取水量原単位 2012年度比10%以上削減（毎年2%削減）
<p><環境リスク管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学物質リスクアセスメントの実施と高リスク箇所への対応実施 ・産業廃棄物の最終処分に至るプロセスの遵法管理を実施 <ul style="list-style-type: none"> - 重大な流出事故発生なし 	<p><環境リスク管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学物質関連法規制のグローバル管理による関連法規制の遵守 ・事業場からの流出・騒音・臭気による地域住民への環境影響を防止するため、パイプエンド管理レベルの強化
<ul style="list-style-type: none"> ・「イビデンの森」での植樹祭や森林保全活動の開催（東横山・ふじはし） ・アジア地区グループ会社（IEB、IPI）での植樹活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「イビデンの森」での森林保全活動の実施

第六条 魅力的で活力にあふれる会社

魅力的で活力にあふれる会社をめざして、公平公正な評価が行われる人事制度と安全で働きやすい環境を柱に、多様性を尊重しあい、一人ひとりの能力が最大限に発揮できる、社員にとって働きがいのある企業風土をつくりまします。

2016年度の実践項目と結果	2017年度の実践項目
<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な正確な時間管理の徹底と、19時までの退社推進開始（イビデン） ・自工程完結活動による効率的な仕事の仕方の推進（イビデン） ・休業前の制度説明会、育児休業復職時、復帰後の面談実施 <ul style="list-style-type: none"> - 育児休業後の復職率100%、定着率100%（イビデン） 	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な働き方の推進と上司部下のコミュニケーション強化（イビデン） ・継続的な正確な時間管理、パソコンの持ち帰り管理の改善（イビデン） ・仕事と介護を両立するための支援（イビデン） ・女性管理者（チームリーダー）の任命（イビデン）
<ul style="list-style-type: none"> ・目標評価制度の見直しにより、面談内容を充実させ上司部下のコミュニケーション促進（イビデン） ・考課フィードバックなど評価者教育の強化（イビデン） 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定・評価者への継続的な訓練実施と制度の定着（イビデン）
<ul style="list-style-type: none"> ・小集団活動で顕在化した危険または有害性に対する是正活動の実施 ・全社特定リスクに対する計画的なリスク低減の実施 ・毎月の安全強化項目設定した、部門長による巡視点検によるチェックと指導 ・請負工事/構内請負会社の安全衛生勉強会を各年3回実施 <ul style="list-style-type: none"> - 労働災害発生度数率 0.33（イビデンおよび国内グループ会社） - 休業災害(4日以上)の労災発生件数 25件（海外グループ会社） 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時、徹底的に原因解析し、対策をグループ全社へ展開（再発ゼロ） ・パトロールや危険予知、ヒヤリハットなどでの危険有害情報をリスクアセスメントに組み込み体系的にリスクコントロールを実施 ・リスクアセスメントの有効性の向上 ・爆発・火災、小火を発生させないよう原因を想定した防火管理を構築
<ul style="list-style-type: none"> ・「Health105プラン」での健康づくりならびに健康管理促進によりホワイト500に認定（イビデン） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「Health105プラン」のもと衛生部会を中心とした、健康経営活動を推進